

+



+



+

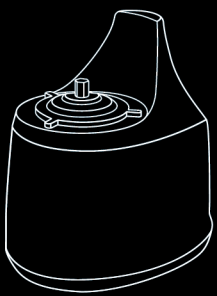


Product Contents

+



+

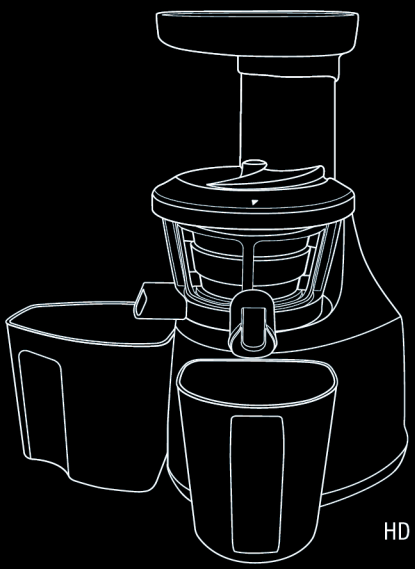


スロージューサー

取扱説明書・保証書

Hurom®

ヒューロム



HD

ヒューロムスロージューサー取扱説明書家庭用(保証書在中)

1 ご使用前に必ず「安全に使用するための注意事項(P 4)」をよく読んでから正しくお使いください。
2 お読みになった後は、すぐに読めるように分かりやすい場所に保管してください。
3 この製品は日本国内用です。電源や電圧が異なる海外ではお使い頂けませんのでご了承ください。
4 この製品の仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

CONTENTS

ヒューロムをお使いの皆様へ 01
各部の名称および部品の名称 02
細部名称 03
安全に使用するための注意事項 04~07
組立方法 08
順序別の組み立て方法の詳細案内 09
本製品の使用方法 10
ジュースキャップ・搾汁パッキンについて 11
使用中にスクリューが停止した場合[逆回転(REV)ボタンの使用方法] 12
使用上の注意事項 13
使用後の分解と洗浄およびお手入れ 14~15
ドラムの分解および洗浄方法 16
回転ブラシの分解および洗浄方法 17
殺菌洗浄と簡易洗浄 18
回転ブラシの組立方法 19
ドラムパッキンの組立方法 20
ジュースキャップパッキンの組立方法 21
修理をご依頼される前に 22
製品の仕様 23
品質保証・アフターサービスについて 24~25

HUROM

ヒューロムをお使いの皆様へ

新しいヒューロムは、食物酵素・ビタミンなどの栄養素を壊さずにジュースにすることができる低速搾汁方式に加え、新しくジュースキャップを加える事により、ドラムの中いっぱいにジュースを溜める事ができる様になりました。

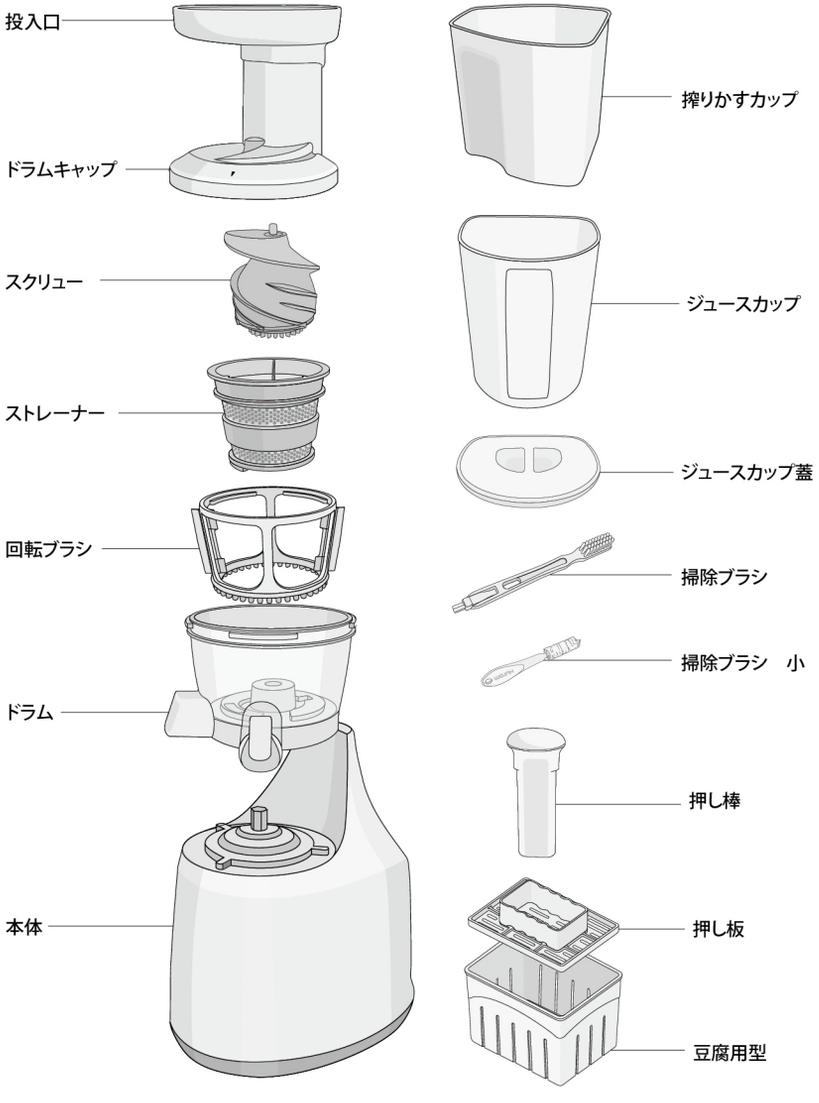
|より豊かな味わい
ドラム内にジュースが溜まっている状態であれば普段ブレンドすることができないバナナ・ナッツ類・豆類・蒸したサツマイモなどと混合したジュースをつくることができるようになりました。

|豆乳、ソイジュース
大豆と水の割合を調節しながら投入していた既存の方式とは異なり、どなたにでも簡単にお好みの濃さの豆乳やソイジュースをお作りいただけます。

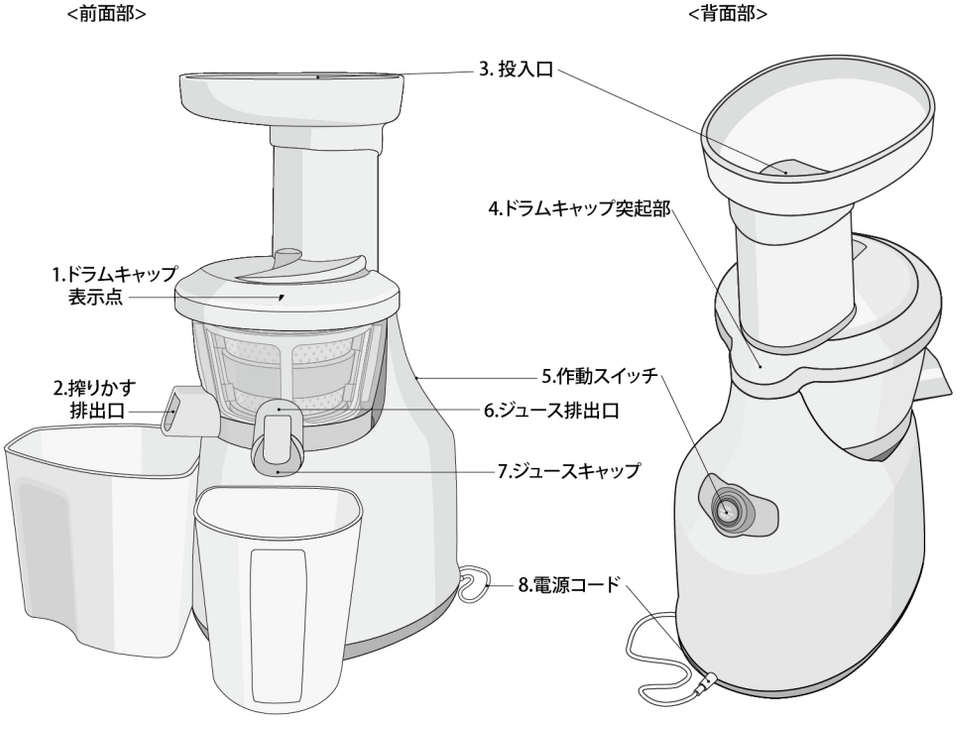
|さらに手軽に、さらに清潔に
既存の方式と異なり、ジュースキャップを使用することで、より手軽にお好きな量を調節してコップ1杯ずつ搾汁できます。
また、搾汁後にジュースが残っても、ふたをすることで残量がたれるのを防ぎ,より衛生的にお使いいただけます。

|さらに進歩した簡易洗浄(P 18)
水を流しながら洗浄する方式とは異なり、ジュースキャップを使用して水をためてドラム全体を簡易洗浄します。

各部の名称および部品の名称



細部名称





ストレーナー
網の目が小さいものは、果肉が硬い果物、豆、繊維質が豊富な野菜の ジュースを作る時に使用します。

※別売部品でフルーツストレーナー（網の目が大きいもの）がございます。
レシピ本（別途　付属品）には網の選択をご案内しておりますが、この製品には1種類のストレーナーしか付属されておりません。

部品の数量　ドラムキャップ（1個）スクリュー（1個）ストレーナー（1個）回転ブラシ（1個）ドラム（1個）本体（1個）搾りかすカップ（1個）ジュースカップ蓋（1個）ジュースカップ（1個）掃除ブラシ（1個）掃除ブラシ 小（1個）押し棒（1個）押し板（1個）豆腐用型（1個）取扱説明書/保証書（1冊）レシピ（1冊）

安全に使用するための注意事項

・ご使用前に＜安全に使用する為の注意事項＞を必ず読んでお守りください。
・人体への危害、財産への損害を防ぐためにお守り頂くことを説明しています。

● 誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告	⚠注意
誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。	誤った取り扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

● お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。



この記号は禁止行為を表示する記号です



この記号は行動を規制したり指示する内容を表示した記号です。

⚠警告 警告事項を守らなかった場合、深刻な傷害を負ったり死亡に至る可能性があります。



電源コードが破損した場合、コード交換は危険を防止するために、製造者もしくはその代理店又は同等の有資格者により行ってください。
火災、感電、傷害の原因となります。





異常・故障時には、直ちに使用を中止する
すぐに差込みプラグを抜いて、フリーダイヤルに必ずご確認ください。
＜異常・故障例＞
・部品のひび割れ、破損・電源コード類の異常加熱・焦げ臭い

HUROM

安全に使用するための注意事項



交流100Ｖ以外の電源で使用しないでください。
感電、火災、性能異常の原因となります。
電圧が異なる場合、モーターの寿命が短縮されたり、故障の原因となる可能性があります。





お子様の手の届かない場所でご使用ください。
また、お子様や取り扱いに慣れていない方は、一人で使用しないようご注意ください。お子様が本体を誤ってさわったり倒したりすると、傷害や故障が発生する恐れがあります。





電源コードをコンセント セントに深く正確に差し込んでください。
感電、火災の原因となります。





電源コードをご使用の際は、以下の点にご注意ください。
無理に曲げたり束ねたりしない,傷を付けない,引っ張らない,高温の近く、またはガスレンジなどの火気の近くに置かない,重いものを載せない,狭い場所に挟んだり加工したりしない。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。





絶対に改造しないでください。また、任意で分解したり修理しないでください。
本体の隙間や穴に指や鉄のピンなどの異物を入れないでください。
火災、感電、傷害、故障の原因となります。製品アフターサービスおよび点検については、フリーダイヤルにお問い合わせください。





本体を濡らしたり、水をかけたりしないでください。
製品のスイッチに、水やその他の異物が入らないようご注意ください。
濡れた手でスイッチを操作しないでください。
感電、火災の原因となります。





濡れた手で電源プラグを抜いたり、差し込んだりしないでください。
感電・傷害の原因となります。



安全に使用するための注意事項

⚠注意 注意事項を守らなかった場合、重大な傷害を負ったり製品が破損する可能性があります。

製品のご使用の際は、ネクタイ、長いネックレス、スカーフなどが投入口に入らないようにご注意ください。
傷害、故障、破損の原因となります。



本体のドラムキャップが正しく装着されていない状態で作動しないでください。
傷害や故障の原因となります。



ドラムがカラ（食材なし）の状態で運転しないでください。
ドラムに食材を投入する際に、穀物類や硬い種が入っている食材（柿・桃など）はそのまま投入しないでください。
破損・故障の原因となります。



ジュース排出口に箸やスプーンなどを入れないでください。
傷害や故障の原因となります。



作動中スクリューの回転が止まった場合、[逆回転]ボタンを2～3秒間押して逆回転させます。逆回転作動が完全に止まった後に再度[正回転]ボタンを押してください。
「正回転」ボタンが押された状態で継続して停止している場合、モーターの過熱による部品の損傷、機能低下の原因になります。問題が解決しない場合は製品を停止させ、フリーダイヤルにお問い合わせください。



本製品は、平らで安定した場所に置いた状態でご使用ください。
傷害や故障の原因となります。



HUROM

安全に使用するための注意事項

作動中に本体を移動させたり、ドラムセットや部品の着脱はしないでください。
傷害や故障の原因となります。
必ず本体を停止させ、電源コードを抜いてから行ってください。

1回の使用につき、30分以上続けて使用しないでください。
モーターが過熱し、故障の原因となります。
5分程度機器を完全に停止させた後に使用してください。



投入口に材料を入れる際、押し棒以外のものは使用しないでください。
傷害や故障の原因となります。



製品に激しい衝撃を与えたり落としたりしないでください。
感電、破損、火災の原因となります。



使用時以外は、電源コードを抜いてください。
その際は、必ずプラグを持って抜いてください。
コードを引っ張ってプラグを抜くと、傷害や感電、火災の原因となります。



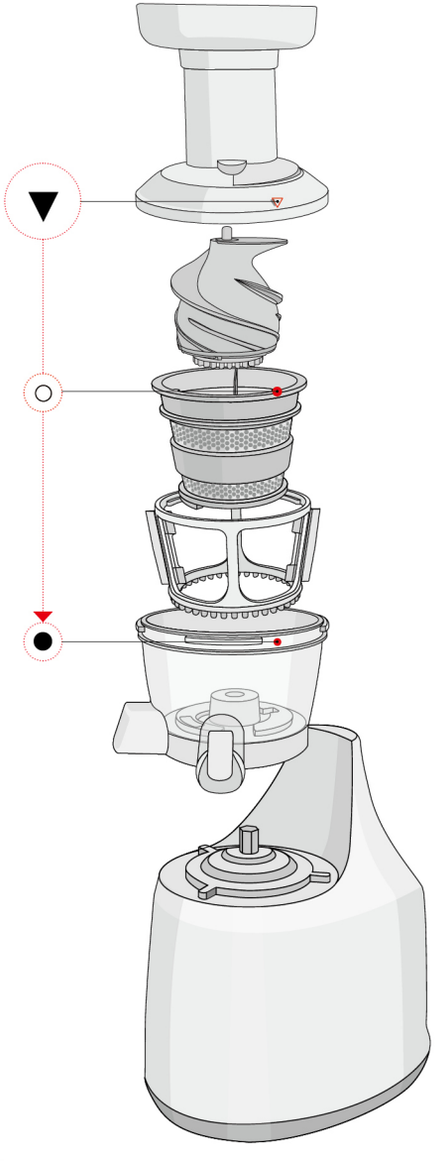
80℃以上の高温では洗浄しないでください。
食器洗浄機、乾燥機、電子レンジなどに入れないでください。
故障、部品変形の原因となります。



本体の重量は約 6kg です。本体を移動させる場合は、必ず両手で本体下部のハンドルを確実につかんで移動してください。
ドラムや本体の側面などを片手で持って移動させると本体が落下し、傷害や故障の原因となります。



組立方法



STEP 4
ドラムの[●]点とドラムキャップの[▼]が直線状に位置するようにしてドラムキャップを閉じた後、時計方向に回します。
本体側の安全装置とドラムキャップ突起部がひったり重なり合うまで回してください。

STEP 3
ストレーナーの中にスクリューをしっかりと押し入れて組み立てます。
完全にはまらなければ、ドラムキャップは閉じません。

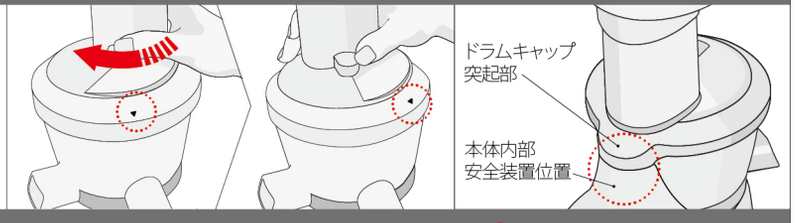
STEP 2
ドラムの[●]とストレーナーの[○]が直線上に並ぶように、ドラム＞回転ブラシ＞ストレーナーの順番に組み立てます。

▶回転ブラシは左右の位置はどこでも組み立てる事ができます。

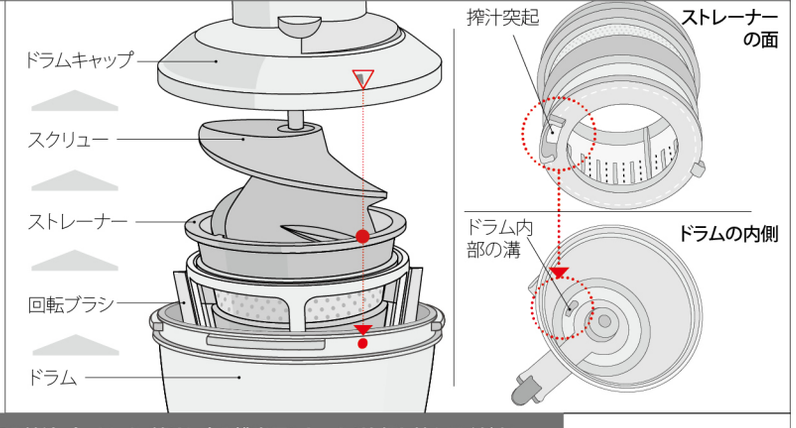
STEP 1
本体とドラムを組み立てます。

順序別の組み立て方法の詳細案内

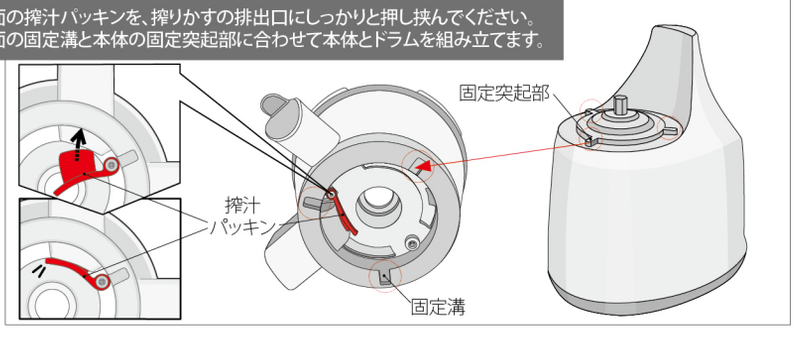
4 製品の背面をみてドラムキャップ突起部と本体をイラストのように正しく合わせてご使用ください。
安全システム案内：イラストの本体内部位置に安全装置が入っており、ドラムキャップ突起部と正しく合わさることにより電源が入る様になります。正しい位置でセットされていない場合はご使用頂くことができませんのでご注意ください。



2,3 ストレーナーの搾汁突起やドラム内部の溝、または部品ごとの目印[ドラム：●、ストレーナー○、ドラムキャップ▼]を合わせて、ドラム＞回転ブラシ＞ストレーナー＞スクリュー＞ドラムキャップの順番に組み立てます。

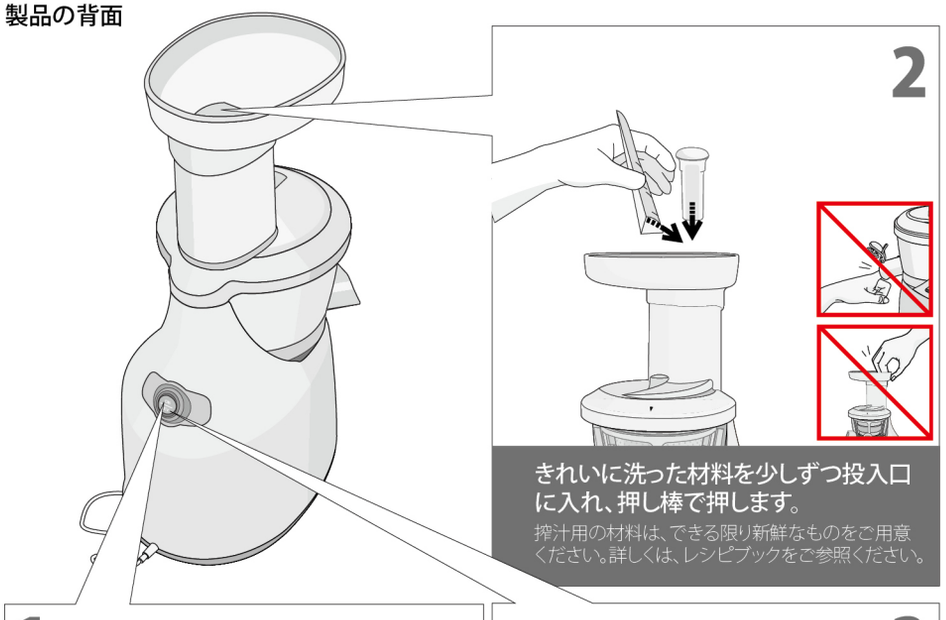


1 ドラム底面の搾汁パッキンを、搾りかすの排出口にしっかりと押し挟んでください。
ドラム下面の固定溝と本体の固定突起部に合わせて本体とドラムを組み立てます。



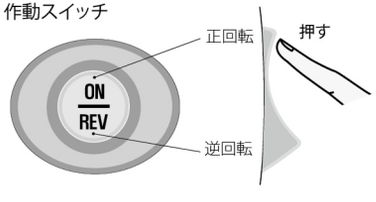
本製品の使用方法

製品の背面



1

作動スイッチ



作動スイッチの[正回転/ＯＮ]を押します。

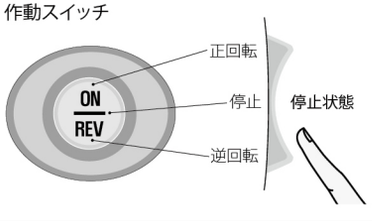
2

きれいに洗った材料を少しずつ投入口に入れ、押し棒で押します。

搾汁用の材料は、できる限り新鮮なものをご用意ください。詳しくは、レシピブックをご参照ください。

3

作動スイッチ



搾汁が終了したら、作動スイッチの[逆回転/ＲＥＶ]を押して停止させます。

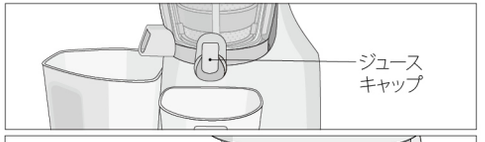
▶ [逆回転/ＲＥＶ]ボタンを押しても、モーターはすぐには停止しません。安全と機器の性能維持のため、ゆっくりと停止します。

HUROM

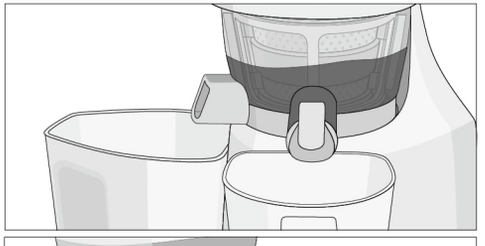
ジュースキャップ、搾汁パッキンについて

ジュースキャップ

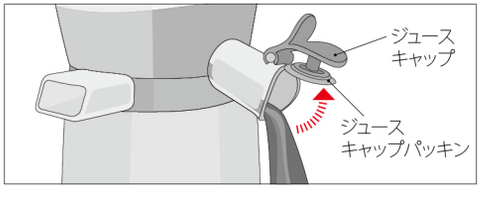
ジュース排出口の蓋です。ジュースキャップを閉じてドラムにジュースを入れると、フルーツジュースや青汁はもちろん、様々な材料を手軽に混合して、バラエティ豊かなオリジナルジュースをお作りいただけます。



1 ジュースキャップを閉じ、[正回転/ＯＮ]ボタンを押して稼動させます。



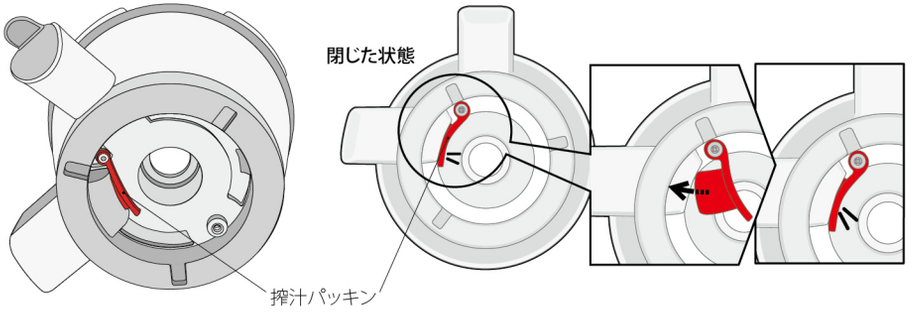
2 材料を搾汁し、ドラム内にジュースが溜まっている状態であれば普段ブレンドすることができないバナナ・ナッツ類・豆類・蒸したサツマイモなどと混合したジュースをつくることができます。



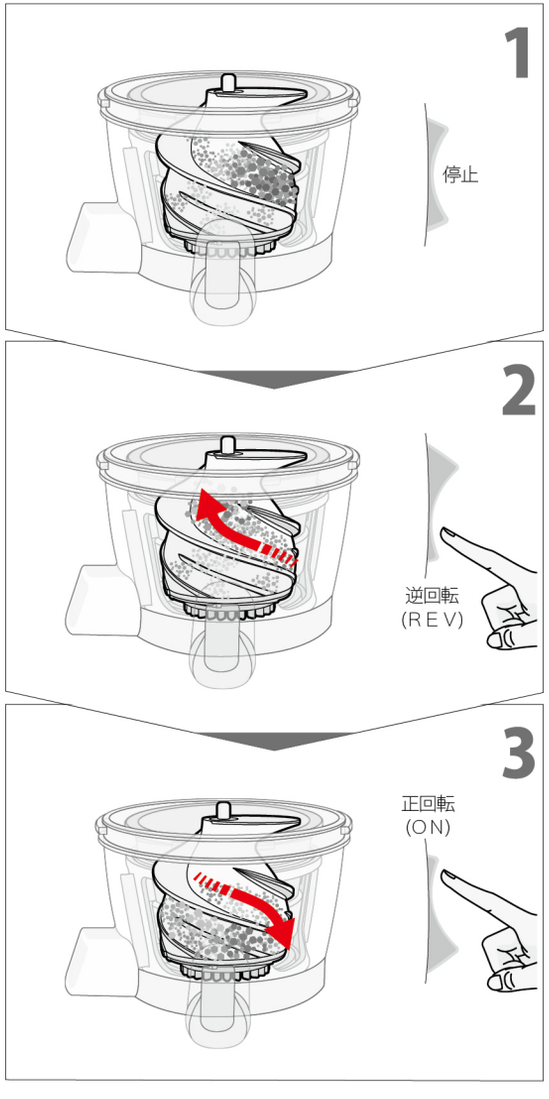
3 ジュースキャップを開けて、必要な分だけ注ぐことができます。

搾汁パッキン

ドラムの底面についているシリコン性の搾りかす栓です。搾汁時には、必ず下の図のように搾汁パッキンを閉じた状態でご使用してください。洗浄する際は、搾汁パッキンを開いて洗浄してください。(案内Ｐ１６)



使用中にスクリューが停止した場合[逆回転（REV)ボタンの使用方法]



作動スイッチを[ＯＦＦ(停止)]状態にして、機器を止めます。

作動スイッチの[逆回転(ＲＥＶ)]ボタンを３～５秒間押して離す過程を２～３回繰り返してください。

▶ 逆回転は、材料を上に押し戻すボタンです。逆回転は、ボタンを押している間だけ作動し、ボタンから手を離すと、スクリューの回転が止まります。

逆回転作動が完全に停止した後、[正回転(ＯＮ)]ボタンを押して稼動させます。

▶ 正回転や逆回転ボタンの作動時は、必ずスクリューの動きが完全に止まってからボタンを押してください。

参　考

上記の過程を実施したにもかかわらず、食材がスクリューにからまり作動しない場合は、コンセントから電源コードを抜いて、ドラムセットを分解して洗浄してからご使用ください。

HUROM

使用上の注意事項

- 柿、梅、レモン、桃のように種が硬い果実は、必ず種を除去してから使用してください。
- 繊維質が豊富な材料(セロリなど)は、2～5ｃｍ程度にカットしてから入れてください。
- 搾汁した青汁、ジュースは長期保存せず、なるべく早めに召し上がりください。
- 薬味用のみじん切り(ニンニク、唐辛子)にもお使い頂けますが、穀物粉砕用としては
- お使いにならないでください。部品の破損、故障の原因となります。
- 一度搾汁した搾りかすは再搾汁しないでください。
  カラ回転させないようご注意ください。



30分以上続けて使用しないでください。
モーターが過熱し、故障の原因となります。
連続して使用する際は、一度停止させて5分以上間隔を置いてからご使用ください。



動作中には、絶対にジュース排出口に箸やスプーンなどを入れないでください。
傷害や故障の原因となります。



押し棒以外の物で材料を押さないでください。
傷害や故障の原因となります。



穀物類や,硬い種が入っている食材（柿・桃など）はそのまま投入しないで下さい。
ドラム・スクリュー・ストレーナー等の破損及び故障の原因となります。
柿、梅のように種が硬い実は、必ず種を除去してからご使用ください。



濡れた手でスイッチを操作しないでください。
感電、漏電、火災の原因となります。
スイッチの周囲に異物が付着しないようご注意ください。



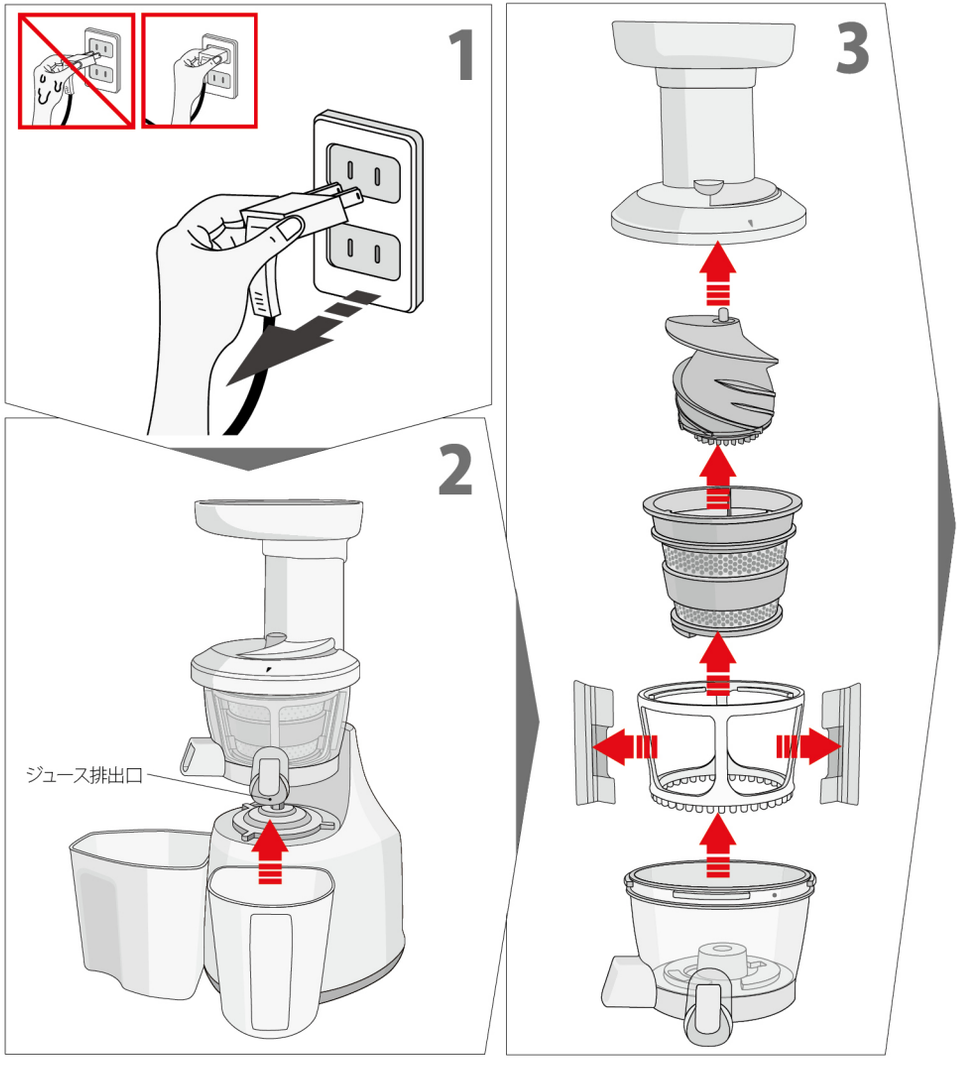
お酒、蜂蜜、砂糖漬けの果物(ブドウ、キイチゴ、桑の実など)を投入しないでください。
ドラムキャップが開きにくくなる原因となります。

参　考

● 冷蔵庫に長期間保管した材料や乾燥した材料、冷凍した果物では、搾汁量が少なかったり、搾汁が不可能な場合もあります。

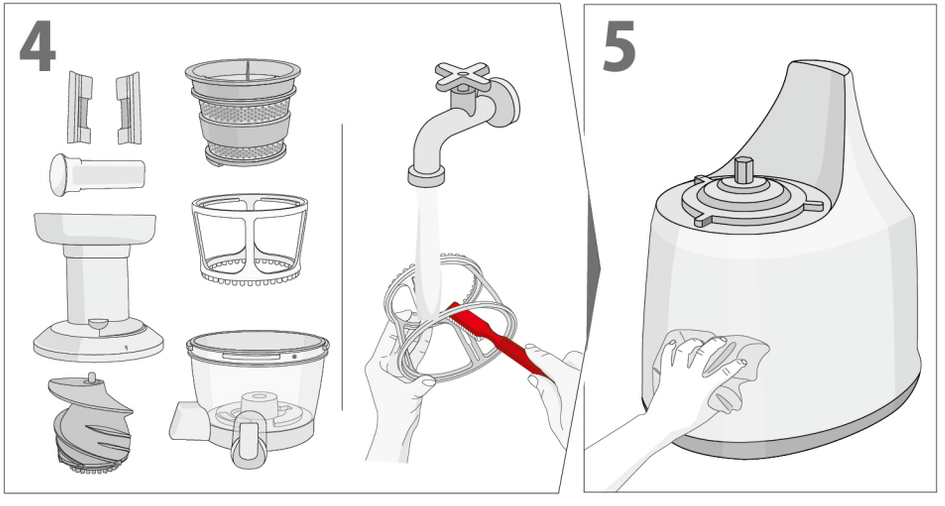
使用後の分解と洗浄およびお手入れ

図の手順



HUROM

使用後の分解と洗浄およびお手入れ



1 本体の作動を停止させ、電源コードを抜いてください。

▶ 電源コードは、必ずコードのヘッド部分を持って抜いてください。濡れた手でコードに触らないでください。

2 ジュース排出口とドラムキャップを両手で持ち、ドラムを持ち上げて本体から分離させてください。

3 組立方法の逆の手順で各部品を分離します。

1) ドラムキャップを逆時計回り（左回転）に回して取り外します。
2) スクリューを取り外します。
3) ストレーナーを取り外します。
4) 回転ブラシを取り外します。回転ブラシのブラシパッキンを取り外します。

4 取り外した部品は、、流水で専用の清掃ブラシ（2種類）を使用して洗浄して下さい。

▶ 1) 洗浄時は金属たわし、研磨剤、シンク溶剤、鋭利な清掃用具を使用しないで下さい。
食器洗浄機、食器乾燥機には入れないで下さい。
2) ドラムの分解および洗浄方法（P16ページに詳しく記載）
・スクリュー底面の金属部分は清掃ブラシ（小）で洗浄する事をお勧めします。
・ストレーナーの金属網目部分は搾りかす等が詰まり易いので清掃ブラシでキチンとお手入れしてください。
3) 回転ブラシの分解および洗浄方法（P17ページに詳しく記載）

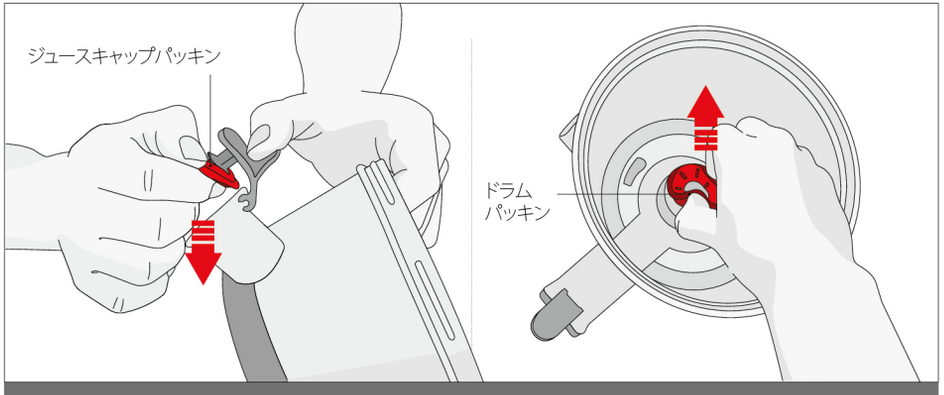
5 本体の汚れは、水で絞ったタオルや柔らかい布で拭いてください。

▶ 本体は水で洗浄しないでください。

6 お手入れ終了後は、完全に自然乾燥させて清潔な場所に保管してください。

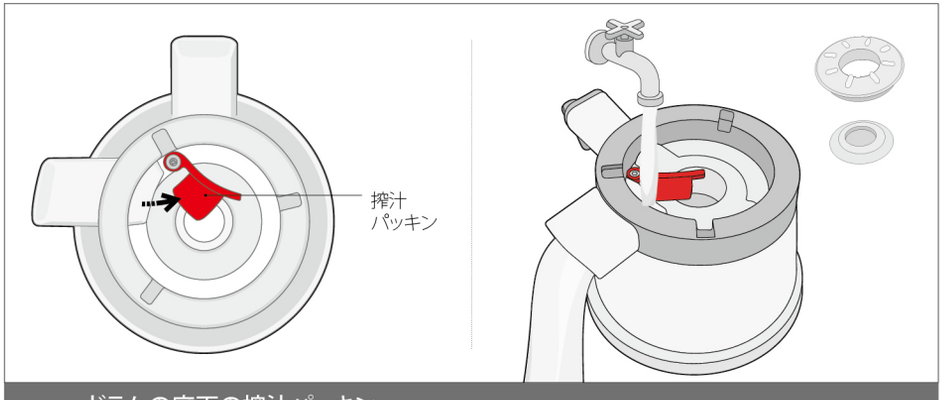
▶ 使用後すぐに洗浄しないと、搾りかすがこびりついて部品の取り外しや洗浄に問題が生じるだけでなく、性能低下の原因に繋がります。使用後はできるだけ早めに洗浄してください。

ドラムの分解および洗浄方法



1 ジュース排出口のジュースキャップパッキンとドラムパッキンを取り外します。

▶ ジュースキャップを開け、片手でドラムとジュースキャップを持ち、もう片方の手でジュースキャップパッキンを引きはがして下さい。取り外しの際、ジュースキャップやドラムを落としたり、キャップが破損する恐れがありますのでご注意ください。ドラムパッキンを二本の指で挟み、ひねるようにして取り外してください。

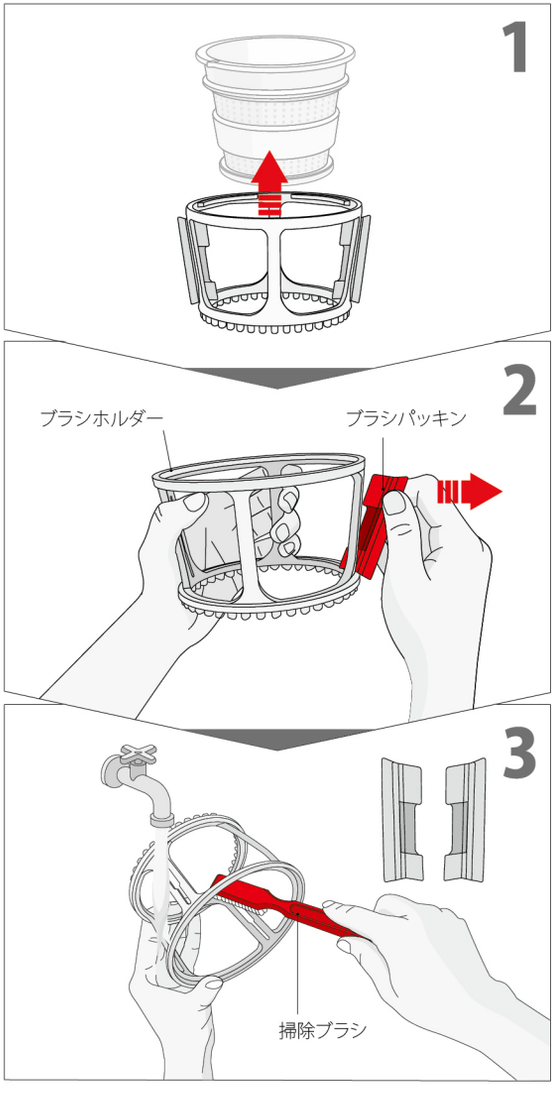


2 ドラムの底面の搾汁パッキンを開いてください。

3 ドラムとパッキンを洗浄します。

▶ 搾りかす排出口は水を流しながら、清掃ブラシの柄の部分で搾りかすをかき出すようにお手入れすると効果的に洗浄できます。

回転ブラシの分解および洗浄方法



1 回転ブラシとストレーナーを取り外します。

2 ブラシホルダーとブラシパッキンを取り外します。

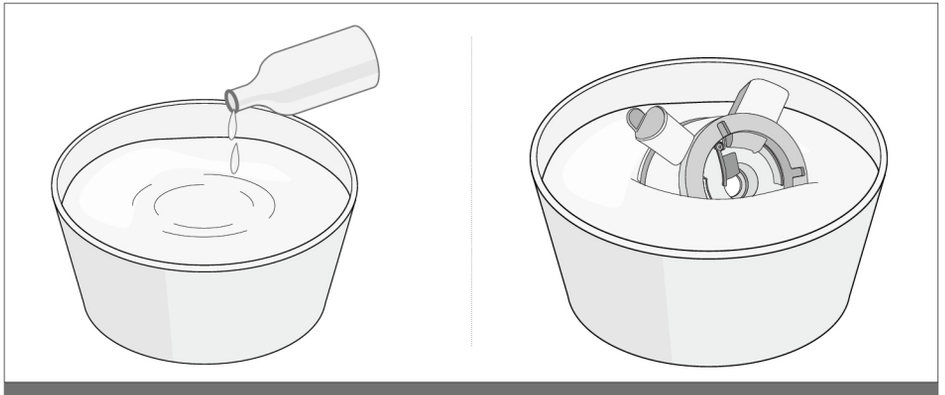
▶ 図のようにブラシパッキンの外側部分を手で持って矢印方向に引張って取り外して下さい。
矢印と違う方向へ引張るとブラシパッキンが破れたり破損する恐れがあります。

3 掃除ブラシを利用して、水を流しながら磨くようにブラシホルダー の両面を洗ってください。

▶ ブラシパッキンも同様に、流水で洗浄してください。

殺菌洗浄と簡易洗浄

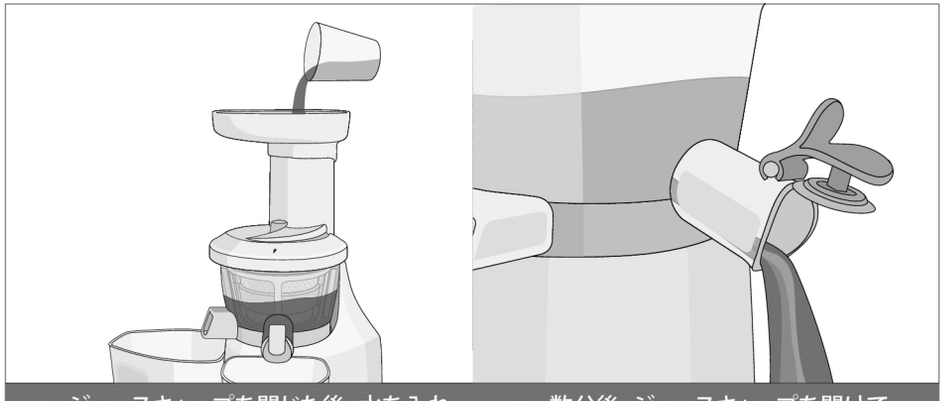
殺菌洗浄



重曹、または食器の漂白剤を使って殺菌洗浄します。

▶ 重曹、または食器用の漂白剤を1～２滴入れた水に30分ほど浸けおくと、きれいに洗浄できます。

簡易洗浄

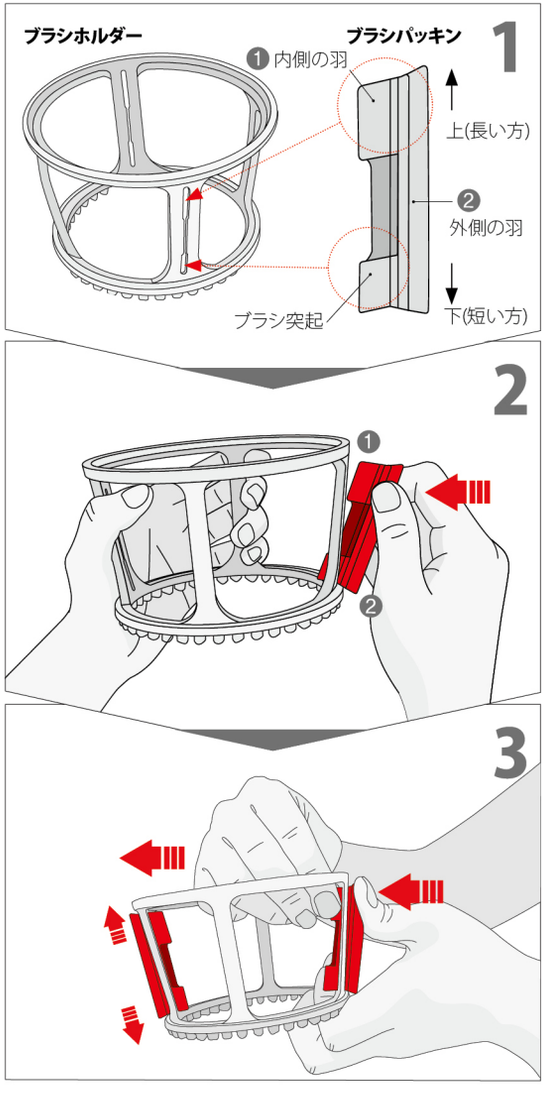


1 ジュースキャップを閉じた後、水を入れて作動させます。

2 数分後、ジュースキャップを開けて水を排出します。

▶ 違う材料を搾汁するたびに分離洗浄する必要はありません。
搾汁が終わった後は、必ず取り外して洗浄してください。

回転ブラシの組立方法



ブラシホルダーの溝と、ブラシパッキンの方向を確認します。

▶ ブラシホルダーには、ブブラシパッキンを挟むための溝があります。
ブラシパッキンは、❶内側の羽と❷外側の羽があります。

▶ 「内側の羽」のブラシ突起の長い方を上にします。
図のように、「内側の羽」がブラシホルダーに向くようにします。

ブラシホルダーに ブラシパッキンを取り付けます。

▶ １の図を参考に、❶内側の羽の長い方を上に合わせます。

▶ ブラシの❷外側の羽を親指と人差し指で持ち、ブラシホルダーの溝に内側の羽を取り付けます。

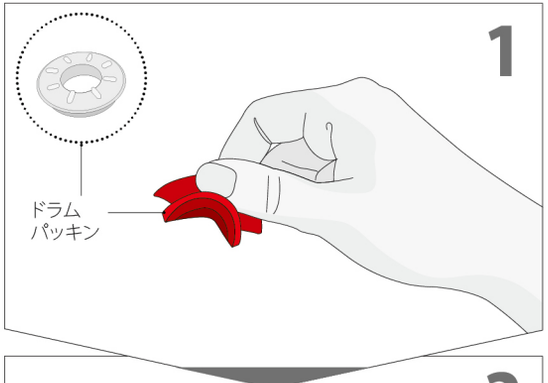
内側の羽を引っ張ります。

▶ ブラシパッキンを外側から押しながら、もう一方の手で「内側の羽」を図のようにブラシホルダーの内側の方向に引っ張ります。

▶ きちんとはまるまで引っ張ります。完全にはまっていない状態で使用すると、破損する恐れがあります。

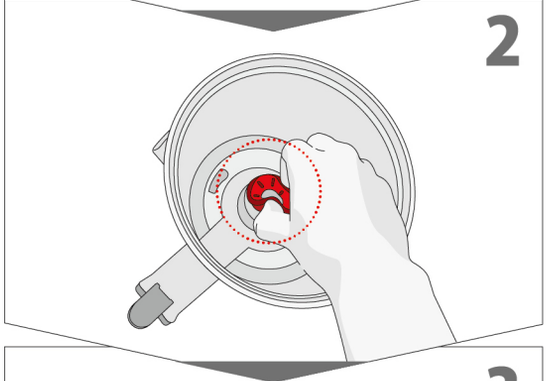
▶ 「外側の羽」の上下を持ち、しっかりと引っ張ってください。

ドラムパッキンの組立方法



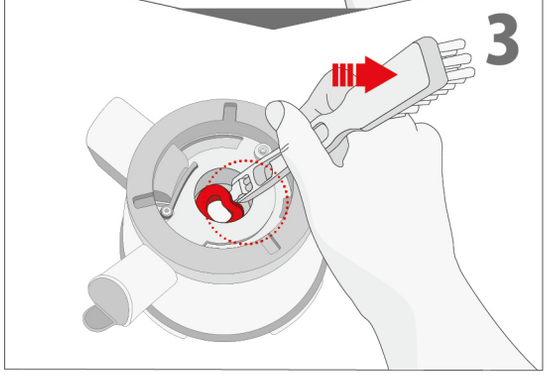
ドラムパッキンをつまむように持ちます。

▶ パッキンの表面を、点線の丸の図のように突起がある部分を上向きにして、親指と人差し指でつまむように持ちます。



ドラムホールにドラムパッキンを設置します。

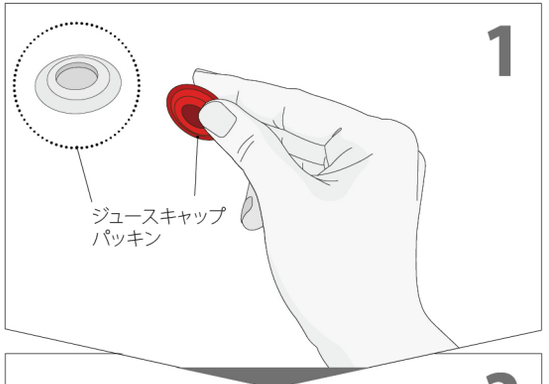
▶ ドラムパッキンの底面を、ドラムホールの中にしっかりと押して設置します。ドラムパッキン上段までは入れないでください。



ドラムをひっくり返して、底の内側のドラムパッキンを整えます。

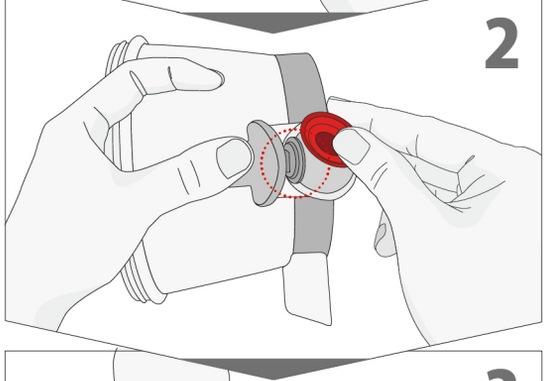
▶ ドラム底面のドラムパッキンが完全に設置されず曲がっている場合、掃除ブラシの反対部分の回転ヘラを利用して整えます。

ジュースキャップパッキンの組立方法



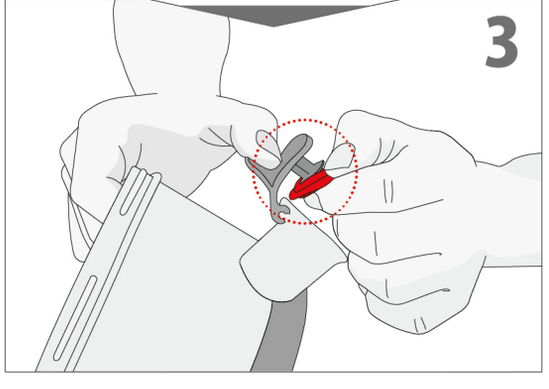
ジュースキャップパッキンを図のようにつまんで持ちます。

▶ 点線の丸の図のように、穴が見えるようにつまんで持ちます。



ジュースキャップを開け、ジュースキャップパッキンを設置します。

▶ ジュースキャップパッキンをドラムジュースキャップに合わせて上からかぶせます。ドラムを落とさないようご注意ください。



パッキンが完全に装着するように整えます。

▶ パッキンが完全に装着していない場合、ジュースが漏れる原因となります。

修理をご依頼する前に

修理をご依頼する前に、次の内容をご確認ください。
これらの状態は故障ではありません。
修理依頼やお問い合わせの前にもう一度お調べください。

動かない。
・電源コードが正しく差し込まれているかご確認ください。
・ドラムキャップが正しく装着されているかご確認ください。
【安全システムについて】
作動スイッチ上部の三角表示点の位置に安全装置があり、ドラムキャップと本体側の三角表示点の位置が合わさり、きちんと装着されなければ本体は作動しません。

ドラムキャップが開かない。
・ドラム内に材料や搾りかすが溜まっているとドラムキャップが開かなくなることがあります。
・粘着力の強い材料や穀物類、硬い種がある果物などが混入していると開かなくなることがあります。
→作動スイッチのREV(逆回転)とON(正回転)を何度か繰り返し押して、中にある材料の位置を動かしてからドラムキャップを開けてください。

作動中に停止した。
・ドラムキャップが正常に閉まっているかご確認ください。
・ドラム内に大量の食材を入れていませんか？
中に入れた食材が多すぎるとモーターに負荷がかかり、保護装置が働き自動的に停止します。
→多すぎた食材をドラム内より取り除けば、作動スイッチを入れることにより再度搾汁することができる様になります。

スクリューにスクラッチ跡がある。
成形物を作る過程で生じる成形跡(ゲート)です。正常な部品であり、ご使用には問題ありません。

本体とドラムの接合部分よりジュースが漏れる。
搾汁パッキンが正しく装着されていますか？パッキンがずれたりしている場合、その隙間から原液が漏れることがあります。搾汁パッキンをしっかりと押し入れてください。
正しく装着しても、液が漏れ出しますか?投入量が多すぎませんか？
搾りかす排出口よりの排出量に比べ、投入口よりの材料投入量が多くなると、搾汁パッキンが徐々に押し出され、隙間ができ原液が漏れ出すことがあります。
一度に多量に投入せず、少しずつ小分けにして搾汁してください。

(搾汁時)ドラムが揺れる。
本体モーターの運動により、若干の揺れが発生することがあります。
材料の特性(硬い、繊維質)に応じて、多少の動きが生じます。
これは、スクリューが回転しながら発生する正常な動きであり、故障ではありません。
水分が多く柔らかい材料に比べて、硬い材料はやや大きく揺れる可能性があります。
(例：ニンジン/ジャガイモ/大根/ビートなど)

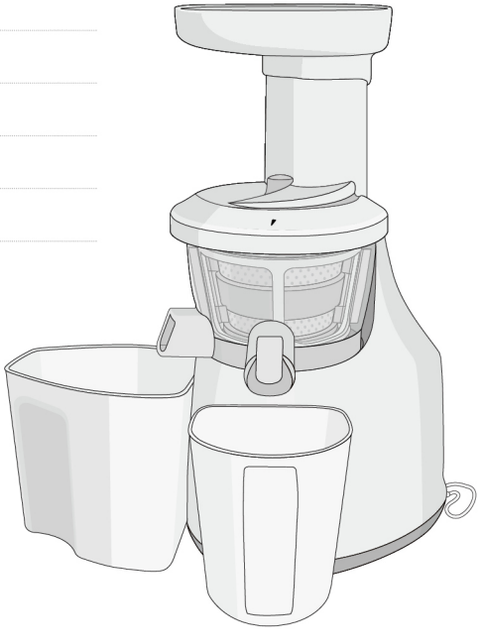
本体より異臭がする。
連続して30分以上ご使用されていませんか？
モーターの過熱によりモーターに付着した脂分が蒸発し、異臭がすることがあります。故障ではありません。
モーターが冷えるまで5分程度製品を完全に停止させた後にご使用ください。

HUROM

製品の仕様

製品規格

製品名	ヒューロムスロージューサー
モデル名	HD
定格電圧	100 V
定格周波数	50/60 Hz
定格消費電力	150 W
1分当たりの回転数	70/80 rpm
コードの長さ	1. 4m以上
ヒューズ	125 V 5 A
製品の重量	6.25 KG
製品サイズ	幅　W　160 mm 奥行　D　233 mm 高さ　H　405 mm
定格使用時間	30分以下の短時間定格



品質保証・アフターサービスについて

●製品保証について

1、この製品には保証書がついています。
　保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。

2、保証期間はお買い上げ日から本体に関しては1年間です。
　保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3、保証期間後の修理は　サービス窓口　にご相談ください。
　　修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●修理を依頼される時は

⚠警告

・故障の時は、ただちに使用をやめて電源プラグを抜き、サービス窓口にご連絡のうえ送付いただき修理をお申し付けください。

⚠注意

・ご自分で修理はしないでください。大変危険です。

●補修用性能部品について
1,補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
2,本体の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年間です。

アフターサービスについてわからないことは・・・
お買い上げの販売店、または サービス窓口　にお問い合わせください。

保　証　書

HUROM スロージューサー
モデル名 ： HD

持込修理

保証期間	お買い上げ日　　年　　月　　日	
	お買い上げの日から本体1年間（一般家庭用に限り）	
お客様	ご住所	〒 電話
	お名前	ふりがな 様

本書は、下記の保証規定により無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に万一故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、下記記載の　サービス窓口へ修理をご依頼ください。保証書に所定事項の記入または販売店印がない場合は必ず販売店発行の領収書または、その他購入年月日、店名等を証明するものを合わせてご提示ください。
安全点検の為に、写しをとる可能性がある場合は、お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

販売店様へお願い

この保証書は、販売店様が所定事項を記入して効力を発揮するものですから、必ずご記入ください。

お買い上げ店 住所・店名	電話	印

HUROM

品質保証・アフターサービスについて

保証書のご使用法

1,この保証書は取扱説明書内の警告・注意等に従って正常なご使用状態で故障した場合のみ、本書記載内容に元づき、お買い上げ後1年間保証対象部分に限り無償にて修理又は交換する事をお約お約束するものです。
したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

2, 保証期間内に故障し、無償の修理を受ける場合には、本製品の保証書を添付の上、サービス窓口にご連絡のうえ送付いただき修理をお申し付けください。

3,保証期間内でも下記の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（ロ）お買い上げ後の輸送、落下による故障および損傷
（ハ）火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障および損傷
（ニ）本書の提示がない場合
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、或いは字句を書きかえられた場合
（ヘ）故障の原因が本製品以外（電源、他の機器等）にあってそれを点検、修理した場合
（ト）一般家庭用以外（例えば、業務用、船舶や海上使用など）に使用された場合の故障および損傷
（チ）腐食による故障および損傷
（リ）樹脂加工およびメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷

4, 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※保証期間後の修理・点検等による諸費用は、お客様にご負担願います。またお買い上げの販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましては、輸送方法によって、一部ご負担いただく場合があります。

● 輸入元、販売元：HUROM株式会社

● 故障・修理についてのご相談に関しては・・・
サービス窓口：
HUROM株式会社　サービス窓口
フリーダイヤル：0120-288-859
受付時間：
10：00～12：00
13：00～18：00（祝祭日以外の月～金曜日）

〒104-0043
東京都中央区湊1-8-12 T.Iビル 2F

※ﾓﾃﾞﾙ名をご確認の上、お電話頂くようお願いいたします。

HUROM®

2 4PJ12248_V.01

0120-288-859

www.huromjapan.com